

〈建設キャリアアップシステム登録推進・窓口開設情報 ⑦〉

2018年10月1日

本部建設キャリアアップシステム担当発

1)テレアポでキャリアシステムの関心よぶ、事業所訪問で対話へ

拡大月間成功めざし組織部ではキャリアアップシステムへの周知及び対象者の掘り起こしとして、テレアポを都内建設業者2789件(建設許可業者であって日建連取引業者で従業員規模が40人未満)へ実施。関心を示す事業所には支部へ事業所情報を配信。狛江支部や調布支部などで積極的に訪問。持参するものとして支部にすでに届いている郵送申請用の「事業者登録申請書」と「技能者情報申請書」を持参し、封を開けてチラシやガイドにもとづき説明するようにしましょう。

2)多摩西部支部が事業所向けシステム学習会を開催

9月26日夜7時、立川のたましんRISURUホールで学習会を開催、事業所や支部役員など約50人参加。「郵送登録申請書」を一人一人が開封して、近藤書記次長が具体的に記入方法を説明。技能が賃金に連動するようシステムが活用されることが重要ですが質疑のなかでは、組合として就業規則作成など中小零細事業者の経営支援をしっかりとすることと、重い会社負担となっている法定福利費の軽減措置などの政策要求を実現する運動も組合に求められていることが鮮明になった学習会でした。学習会の最後は木下組織部長が、秋の拡大月間で組合の魅力、建退共の意義や土建保の家族入院無料などを語り、新しい仲間への加入を熱く訴え、終了しました。

3)「郵送登録申請書類」の注文は、振興基金へネットで注文(無料)

多摩西部支部の大房主任書記が「学習会などで配布してきたので「郵送登録申請書類」亡くなりそうだ、注文は？」との質問。本部に在庫は少々ありますが、数年かけ組合員を登録することになります。建設業振興基金HPからネット注文を。チラシなども無料でもらえます。事業所訪問などでどんどん配布しましょう。

4)全建総連各組合の窓口開設状況と当面の取り組み

全建総連各組合の業務委託窓口開設に向けた準備が進み、10月1日から窓口業を開始するのが建設ユニオン(今後全支部が窓口開設予定)、10月までに開設予定は埼玉土建(認定登録機関8)、千葉土建(同全支部18)など年度内に162の窓口が開設されます(9月4日現在)。

東京土建は本部と4支部が開設、各支部での学習会を推進し、延期となった準備期間を有効に活用し、支部での窓口(都認定登録機関)開設、事業所訪問などによる仲間への周知、郵送登録申請書を利用した説明による登録の推進、とくに定期的な講習会などの開催で、組合役員と建設業許可事業者の登録をしっかりと進めていきます。

5)専門工事企業の見える化検討会が企業評価で中間報告案を示す 1/5

国土交通省は、9月20日に開いた「専門工事企業の施工能力の見える化等に関する検討会」に、建設キャリアアップシステムに登録される技能者の就業履歴・保有資格をベースとして専門工事企業の施工能力、を見える化し、企業評価制度とする中間報告案を示しました。

2019年度中に一部の運用を開始するもので、①全ての業種に必須とする共通項目は、「財務状況等」「建設技能者の人数」「施工実績」など、②業種ごとに定める選択項目は、「協力会社」「建設技能者の定着率」などとしています。(つづく) 以上